

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 12日

事業所名 ことばの教室 ことのは2号館

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1		利用児童が十分に活動できるスペースになっている	
	2	職員の配置数は適切である	8	2	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3	1	危機的予知ができない児童が角や壁にぶつかっても怪我が無いようにクッション材を付けている	階段等、バリアフリー化が出来ていない部分があるので、見学・体験時や契約時に周知している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2	3	キャリアプランシートを作成・記入を行い、管理者と職員とが定期的に面談を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	4		保護者等向け評価表の活用や公表を行っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	1	HP、ブログ等を定期的に更新している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	8			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			月2回の事業所内研修を行っている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10		1	初期評価表を作成している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3	1	担当者が立案を行い、チームでは相談と報告を行う	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	1	発達の最近接領域に基づいた療育を行う様にしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	4	1	課題は細やかに設定しているが、日程ではなく、子どもの状況に応じて変更している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	2		終礼・議事録などにて確認し、役割分担に備えている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11			毎回の終礼時に振り返りとその共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11			毎回の終礼時に振り返りとその共有を行っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11			担当言語聴覚士が、日々の訓練の内容を記入している	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	11				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	10	1			保護者を通して連絡調整を行っているが、学校と の情報共有がうまく出来ていない部分もあり、今 後の課題である
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	3	6	1		現在、対象児童はいないが、必要に応じて検討 する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	10	1		定期的なモニタリング 以外にも、必要と感じ た時や求められた時 には、情報共有と相 互理解を行うようにし ている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	7	3			現在、対象児童はいないが、必要に応じて対応 する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	6	2	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	6		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	5	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	11			利用の際の申し送り の中で、子どもへの 具体的な関わ方等を 伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	5	4	1		現状、集団のペアレントトレーニングとしての提 供はできていないが、個別で家庭での子ども達 の関り方の工夫等を伝えるという形で、家庭支 援を行っている
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	11			契約時に説明を 行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	11			利用の際の申し送り の中で、子どもへの 具体的な関わ方等を 伝えている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	3	6		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	10			苦情があった場合に は、すぐにケース会 議を行い、迅速かつ 適切に対応するよう に心がけている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	3	1	HPを開設して、プ ログも定期的に更 新している	
	35	個人情報に十分注意している	11			個人情報保護に関す る社内研修を行い、 個人情報保護に努め ている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	11			職員間にて情報の共 有を行い、コミュニ ケーションに繋げてい る	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	4	5	HPを通じて、活動の 情報を積極的に発信 している	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	2		各種マニュアルを策定して、職員間で共有している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1		消防署とも連携を行い、年に二回の避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			今後、虐待防止委員会を設置予定である	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	2			必要に応じて、計画立案を行い、児童発達支援計画に記載する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11			その都度ヒヤリハット事例を作成し、会社全体にて共有している	